



令和8年度予算案

重点事業の骨子



令和8年2月25日
北海道幕別町



活気に満ちた産業のまちづくり

980,352 千円

- ▶ 地域経済を支える農業の振興 715,668 千円
- ▶ 活力ある商工業の推進 264,684 千円



暮らしやすいまちづくり

908,243 千円

- ▶ 定住施策の充実 242,065 千円
- ▶ 子どもを産み育てられる環境の充実 507,539 千円
- ▶ いつまでも健康で生きいき高齢者福祉の充実 158,639 千円



安心・安全なまちづくり

1,247,571 千円

- ▶ 町民の生命と財産を守るまちづくり 1,194,572 千円
- ▶ 持続可能な行財政の確立 52,999 千円



元気な教育・文化・スポーツのまちづくり

608,962 千円

- ▶ 次代を担う子どもの育成 512,464 千円
- ▶ 豊かな心を育む文化・スポーツの振興 3,773 千円
- ▶ 歴史的文化の保存と伝承 92,725 千円



活気に満ちた産業のまちづくり

地域経済を支える農業の振興

【予算額：715,668千円】

① ふるさと土づくり支援事業補助金 H8~ 15,000千円

農業の生産性向上と収量確保に欠かせない、堆肥の購入・切返しや土壌診断を積極的に支援することで、良質な土づくりを促進

○堆肥切返し機械利用料補助

(上限額：1経営体当たり10万円)

○堆肥購入補助

(上限額：1経営体購入量上限5t、補助額上限10万円)

・町内、町外産の区別を撤廃し単価を30%に統一

・新規メニューの土壌診断の実施が必須

○土壌診断経費補助(上限額：1経営体当たり2万円)

・事業費の1/2以内を補助



② 農業ゆとりみらい総合資金貸付金 H7~ 30,000千円

農業の振興と農村地域の活性化を図るため、農業者の創意工夫と農業経営の安定に必要な資金を貸付(無利子又は低利)

③ 農用地排水改善対策事業補助金 H14~ 6,500千円

小規模暗渠の整備に要する経費の4分の1を補助(上限額：15万円)

④ 道営水利施設等保全高度化事業負担金 309,040千円

(※令和7年度補正繰越分：147,240千円含む)

農道・畑地かんがい・区画整理等の整備により農業機械の高度利用による省力化の促進・生産の増加等農業経営の安定を図る

○糠内第3地区 事業期間：平成29年度～令和9年度

○明倫新和地区 事業期間：令和3年度～令和11年度

○西幕別第3地区 事業期間：令和4年度～令和14年度

○中里美川地区 事業期間：令和5年度～令和17年度

○駒畠第2地区 事業期間：令和6年度～令和16年度

※パワーアップ事業分(町補助)分：32,220千円

道と町がパワーアップ事業でそれぞれ3%、国が促進費として6.5%を負担することにより、農家負担を20%から7.5%に軽減

5 忠類第一幹線明渠排水路整備事業 R5~ 284,212 千円

(※令和7年度補正繰越分)

忠類第一幹線明渠は昭和26~27年に国営明渠として造成され、昭和40~60年代に一部改修が行われているが、老朽化により護岸の欠損及び傾倒等がひどく隣接地が陥没する被害も出ているため、明渠施設の長寿命化を図ることを目的に排水路の更新・改修を行う

○排水路改修工事：460m

6 忠類第2地区公社営草地整備事業 R7~R10 28,664 千円

草地の排水不良や経年劣化による生産性の低下を改善し、良質粗飼料の確保及び飼料自給率の向上を図り、飼料費コスト低減により安定した酪農畜産経営の確立を図る

○忠類第2地区

- ・事業期間：令和7年度~令和10年度
- ・草地整備改良：55.80ha
- ・暗渠排水：2.40ha

7 肉用牛遺伝的能力評価支援事業補助金 R2~ 525 千円

家畜飼養管理技術の向上及び改良を図るため、繁殖雌牛からさらに能力の高い繁殖牛群の選抜・造成に取り組む活動として、当該年に産まれた肉用雌牛及び保留のために導入する雌牛に対して、遺伝的能力評価（ゲノム評価）を実施した場合、要した経費の4分の1を補助（上限額：1頭当たり3千5百円）

8 後継牛確保対策事業 H28~ 2,800 千円

自家繁殖の育成牛の増頭及び優秀な後継牛の確保を効率的に行うために、未経産の24箇月齢以下の牛を対象に雌雄判別精液の購入に要した経費の4分の1を補助（上限額：1頭当たり2千5百円）

9 優良和牛生産基盤強化事業 R6~ 3,000 千円

体格、発育に優れた黒毛和種の繁殖雌牛を保留し、優良な系統牛を確保することで経済性の高い和牛の生産を図るため、体格得点81.5点以上の繁殖雌牛の保留に対して補助金を交付（1頭当たり2万円）

10 有害鳥獣被害対策事業補助金 H23~ 550 千円

ゆとりみらい21推進協議会の有害鳥獣被害対策事業（狩猟免許予備講習補助、狩猟免許手数料助成など）に対する補助

11 鳥獣被害防止緊急捕獲対策事業補助金 H25～ 20,478 千円

エゾシカ、キツネ、カラス、ハト、アライグマ、タヌキ、ウサギ、クマの有害鳥獣捕獲に対する補助

12 民有林経営管理委託料 3,354 千円
(森林環境譲与税基金活用事業) R4～

森林整備が進んでいない森林所有者に対し、適正な経営管理が行われるよう整備計画作成の働きかけや指導・助言等を実施し、適切な民有林の管理を推進

○町または森林組合に管理を委託する意向のある所有者に対して、ドローン空撮調査により現況を確認し、今後の管理経費や伐採収益等に係るシミュレーションを行い、現況を踏まえた施業計画の指導・助言を実施

13 私有林森林整備環境保全事業補助金 9,000 千円
(森林環境譲与税基金活用事業) R3～

森林の維持管理に係る所有者の自己負担を軽減し、適切な森林整備を推進するため、除間伐、下刈り、枝打ちに要する経費の一部を補助

14 森の輪 (wakko) 製作委託料 350 千円
(森林環境譲与税基金活用事業) R2～

町有林の間伐材を利用し、乳児から遊べるドーナツ型の木製玩具「森の輪 (wakko)」を製作し、乳幼児健診時に配布

15 林業人材育成・担い手確保対策事業 105 千円
(森林環境譲与税基金活用事業) R6～

林業の人材育成、担い手確保を目的に林業新規就業者に対し、伐採業務に必要な刈払機やチェーンソーに係る資格取得経費を補助(上限額 刈払機：1万5千円、チェーンソー：2万円)

16 林業緑化推進事業 2,090 千円
(森林環境譲与税基金活用事業) R7～

苗木生産者の多様な樹種の需要が高まる中、その生産に係る費用や技術に障壁が多いことから、需要に応じた多様な苗木の安定的な供給の取組を支援することを目的とし、民有林向けに出荷した苗木に対して補助

○補助額

- ・カラマツ・トドマツ
裸苗 5円/10本
コンテナ苗 10円/10本
- ・その他の苗木
裸苗 15円/10本
コンテナ苗 20円/10本



1 商工会振興補助金 S47~ 56,064千円

町内商工業の振興及び地域の発展を図ることを目的に、幕別町商工会に対して補助

2 商店街活性化店舗開店等支援事業補助金 H21~ 5,990千円

商店街団体等が営業等を目的として行う空き店舗（賃貸・購入物件）の改修費用等を助成

3 ゼロカーボン推進総合補助金 R6~ 39,740千円

- 住まいのゼロカーボン化推進補助金：34,090千円（北海道：1/2補助）
 - ・太陽光発電システムの導入、住宅の省エネ改修や高効率設備の導入、北方型住宅Z E R Oの新築に対し一定率の補助
- 省エネ化推進補助金：5,650千円（町単独）
 - ・省エネ型電気冷蔵庫への買い換えに対する補助（1/5、上限5万円）
 - ・住宅の屋根や壁への遮熱塗装に対する補助（1/2、上限2万5千円）

4 事業者省エネルギー診断支援補助金 R8~ 125千円 **新規**

町内事業者における脱炭素化を推進するため、国の委託を受けた機関の省エネ診断を受ける際の費用を補助

- 対象経費：省エネ診断に要する経費（消費税及び地方消費税は除く）
- 補 助 率：1/2（上限2万5千円）

5 地域おこし協力隊活動推進事業 H30~ 54,344千円 **拡充**

町外の人材を招致し、商工業や観光の振興に関する活動、地域の情報発信に関する活動等を通じて、地域の活性化を図ることを目的に導入

- ▶令和8年度は町全域で9人を配置予定（令和7年度：3人）



6 地域プロジェクトマネージャー活動推進事業 R8~ **新規** 6,159 千円

「重要プロジェクト」として設定した地域課題の解決に取り組むにあたって、マネジメントをしながら外部専門人材、地域、行政、民間の橋渡しを行う専門性の高い人材を「地域プロジェクトマネージャー」として任用

▶令和8年度から地域活性化を重要プロジェクトに位置付け、地域プロジェクトマネージャーを任用

7 地域活性化起業人活動推進事業 R8~ **新規** 2,960 千円

都市部に所在する企業の社員の専門的なノウハウや知見を活かしながら、即戦力人材として一定期間受入れる「地域活性化起業人」制度のうち、個人との契約に基づき受入れを行う「副業型地域活性化起業人」を活用

8 忠類地域魅力発信事業 H27~ 1,400 千円

忠類地域の交流人口の拡大や地域経済の活性化を図ることを目的とした実行委員会内に、2つの部会「イベント部会」、「花と環境部会」を設置し、忠類地域の魅力を地域内外に発信する事業を実施

9 観光物産協会補助金 15,455 千円

まくべつ夏フェスタ、まくべつ産業まつり、忠類ふるさと盆踊り大会、忠類どんとこいむら祭り、忠類ナウマン全道そり大会等のイベント及び物産展等の開催に対する補助

10 特産品研究開発事業補助金 H28~ 1,500 千円

特産品開発、販路開拓等に要する経費に対する補助

○新製品開発、パンフレット等のデザイン 補助率2/3以内

○販路拡大のための経費、イベント費用等 補助率1/2以内

11 アルコ236整備事業 15,709 千円

加圧給水ポンプユニット更新、自動ドア改修、カラオケ棟漏水改修、ボックスカルバート補修、正面玄関外壁補修

12 企業開発促進補助金 S61~ 25,024 千円

事業場の新增設に伴う固定資産税相当額と投資額(土地代を除く)の10%(工業団地以外は5%)を補助(限度額:1億円)

13 工業団地取得資金貸付事業 S61~

31,943 千円

工業団地取得に対する貸付金

14 雇用対策事業

8,271 千円

- 若年者緊急雇用対策事業 H15~
 - ・学校卒業後3年以内の若年層を雇用（6か月間・3人分）
- 季節労働者雇用対策事業 H20~
 - ・街路清掃、除排雪等の町道環境整備、公共施設清掃



暮らしやすいまちづくり

定住施策の充実

【予算額： 242,065 千円】

1 マイホーム応援事業 H27～ 39,100 千円

町内全域を対象に、新築住宅の建設、購入又は中古住宅の購入に要する費用の一部を補助

○住宅を新築または購入する場合 30万円

○中古住宅を購入する場合 20万円

○加算額

- ・幕別市街及び忠類市街に新築または購入する場合 80万円
- ・町内業者で住宅を新築する場合または町内業者から住宅を購入する場合 50万円
- ・実績報告時において同居する18歳未満の申請者の子がいる場合
2人目まで1人当たり10万円、3人目以降1人当たり30万円

2 結婚新生活支援事業 R1～ **拡充** 5,100 千円

婚姻に伴う負担軽減を図り、少子化対策を推進するため、新婚世帯の新生活に係る住宅費用や引越費用の一部を補助

○対象世帯：年齢39歳以下かつ世帯所得500万円未満の新規に婚姻した世帯

○補助対象：婚姻に伴う住宅取得費用又は住宅賃借費用、引越費用、リフォーム費用

○補助率：1/2（補助上限額：1世帯当たり30万円）

※夫婦ともに29歳以下の場合は、補助上限額60万円

▶所得要件を400万円未満から500万円未満に拡充（令和8年度）

3 UIJターン新規就業支援事業 R2～ 1,300 千円

東京圏から就業に伴う町内への移住者の取り込みを図るため、次の要件を満たした移住者に対して、移住支援金（世帯：100万円（18歳未満の帯同世帯員1人につき30万円加算）、単身60万円）を交付

○5年以上東京23区に在住または東京圏に在住し東京23区に通勤していた方

○北海道が開設するマッチングサイトに掲載している求人先に就職した方、移住前の業務を引き続きテレワーク等で行う方、一定の要件を満たして起業した方、関係人口に関する一定の要件を満たす方

4 公営住宅建設事業 R1～ 140,747 千円

あかしや南団地建替事業（外構工事）、旧南町団地解体事業（実施設計）、旭町東団地屋上防水改善事業

5 男女共同参画推進事業 R6~ 74 千円

令和7年3月に策定した「誰もが生きやすいまちを目指して～幕別町男女共同参画計画～」に基づき、男女共同参画社会の実現に資する各種施策を推進

※令和8年度は進捗状況の評価に向けた審議会1回分の報酬、費用弁償

6 忠類地域魅力発信事業 H27~【再掲 P5】 1,400 千円

7 地域おこし協力隊活動推進事業 H30~【再掲 P5】**拡充** 54,344 千円

子どもを産み育てられる環境の充実

【予算額：507,539 千円】

1 不妊治療費助成事業 H18~ 4,980 千円

不妊治療の保険適用に伴い、自己負担額の一部を助成

○一般不妊治療

・人工授精などの治療費に対して、5万円/年を上限に助成

○特定不妊治療

・生殖補助医療の治療費に対して、15万円/回を上限に助成

・男性不妊治療の治療費に対して、7.5万円/回を上限に助成

○先進医療治療費

・先進不妊医療の治療費に対して、3.5万円/回を上限に助成

2 妊婦健診費助成事業 H18~ 1,430 千円

妊婦健康診査に要する費用に対して、1人当たり2万円を上限に助成

3 RSウイルスワクチン接種事業 R8~ **新規** 852 千円

令和8年4月から国が定期接種化することに伴い、妊婦（妊娠28週0日～妊娠36週6日）を対象に、RSワクチン接種費用を全額助成

4 こども家庭センター運営事業 R8~ **新規** 4,103 千円

「子育て世代包括支援センター（H29保健課）」、「子ども家庭総合支援拠点（R4こども課）」の機能を維持したうえで組織を見直し、すべての妊産婦、子育て世代、こどもに対して一体的な相談支援を行う機能を有する「こども家庭センター」を設置

5 保育所等 ICT 導入事業 R8~ **新規** 7,443 千円

保育所運営における省力化および利用者の利便性向上のため、現在手書き処理している登降園の管理やお便り帳の作成等を行うことのできるこども施設 ICT ソフト「コドモン」を導入

6 乳児等通園支援事業 (こども誰でも通園制度) R8~ **新規** 8,112 千円

令和8年度から子育て支援センターにおいて乳児等通園支援事業を実施

7 1 か月児健康診査実施事業 R6~ 520 千円

1 か月児の身体発育状況や栄養状態、身体の異常の早期発見、こどもの健康状態や育児の相談などを行う健康診査の受診に対して、健康診査に係る費用を助成 (上限額: 4 千円)

8 新生児聴覚検査実施事業 R7~ 732 千円

概ね生後3日以内に新生児の音に対する反応を検査し、耳の聞こえの異常を早期に発見することを目的とした検査に係る費用を助成



9 産婦健診費助成事業 H29~ 1,150 千円

産婦健康診査に要する費用に対して、1 回当たり 5 千円を上限に助成
※協定外の検査費用は、1 回当たり 4 千円、2 回を上限に助成

10 妊婦のための支援給付金給付事業 R4~ 14,085 千円

全ての妊婦や子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、妊娠時から出産・子育てまで妊婦支援給付金 (妊婦給付認定後 (5 万円) と出産時等 (胎児の数 × 5 万円)) による経済支援と伴走型相談支援を組み合わせ実施

11 産後ケア事業 H29~ 2,364 千円

出産後の母子に対して、心身のケアや育児のサポートを行うことを目的とした助産師による訪問型と通所型として、授乳及び育児に関わる相談、産婦の休養等に係る支援を実施

12 子ども医療費助成事業 S47~

117,777 千円

子育て世帯の経済的負担の軽減及び重症化予防のため、子ども（18歳に達する日以降の最初の3月31日までの者）に係る医療費の助成を行う

13 3歳以上児主食提供事業 H28~

5,889 千円

3歳以上の保育所（認定こども園を含む）・幼稚園入所児童が、温かいまま食べることができる主食（米食）を提供することで、子育て世帯への経済的・身体負担の軽減を図る



14 認可外保育施設保育料助成事業 R1~

550 千円

入所定員の超過等により、町内の認可保育所を利用することができず、認可外保育施設を利用する保護者に対して、認可外保育施設の保育料と認可保育所に入所した場合の保育料差額を助成

15 ファミリー・サポート・センター事業 H28~

843 千円

育児の援助を必要とする人と育児の援助ができる人の仲介・調整を実施

16 家庭的保育事業 R4~

18,526 千円

0歳児から2歳児を対象に、家庭的な雰囲気のもとで少人数（定員5人以下）に対して保育を行う家庭的保育事業所に給付を行う

17 マイファーストブックサポート事業 H15~ 1,210 千円

乳幼児健診時に図書館司書による絵本の読み聞かせを行い、絵本を絵本バッグに入れてプレゼント

- 絵本を入れるバッグは、既製品のバッグに中札内高等養護学校幕別分校生徒がシルクスクリーンにより印刷し製作
- 読書習慣の継続を図るため、オリジナル絵本の新小学1年生へのプレゼント（セカンドブックプレゼント）及び絵本に係る催しを実施

18 学校給食材料費支援 R3~ 15,961 千円

学校給食費の改定による保護者負担増を軽減するため、給食費の一部を支援

- 小学校給食費 68,037千円に対し、7,691千円を支援（1食当たり48円軽減）
- 中学校給食費 45,862千円に対し、8,135千円を支援（1食当たり57円軽減）
- 保育所給食費 2,403千円に対し、83千円を支援（1食当たり8円軽減）
- 幼稚園給食費 1,389千円に対し、52千円を支援（1食あたり8円軽減）

19 発達支援センター運営事業 R4~ 23,222 千円

幕別町発達支援センター「どろっぷす」及び忠類分室「ろりぼっぷ」において、障がい児及び支援や配慮を必要とする子どもとその保護者に対し、専門的な相談・指導・療育を実施

20 幕別認定こども園整備事業 277,440 千円

幕別認定こども園の新園舎として、旧わかば幼稚園園舎を改修、保育所機能部分となる未満児用の保育室・調理室などを増築し施設を整備

- 工事監理委託
- 幕別認定こども園増築・改修工事（機械設備・建築主体・電気設備）
- 初度備品

21 森の輪（wakko）製作委託料
（森林環境譲与税基金活用事業）R2~【再掲 P3】 350 千円

いつまでも健康で生きいき高齢者福祉の充実 【予算額：158,639 千円】

1 国保・後期ヘルスアップ事業
（医療費適正化事業）R3~ 12,543 千円

- レセプト、健診結果等を分析し、生活習慣病重症化予防や服薬管理の個別指導を実施
- 糖尿病重症化予防事業、服薬情報通知事業、特定健診受診勧奨通知事業

2	国保一般健康診査事業 R8~	新規	382 千円
若年（18歳から39歳まで）の国保加入者を対象に一般健康診査を実施			
3	がん対策事業 R7~	拡充	19,828 千円
がん予防と早期発見のため、国の指針に沿ってがん検診を実施 ▶自己負担額の見直し及び対象年齢を40歳以上から35歳以上に拡充（令和8年度）			
4	骨粗しょう症検診事業 R7~		82 千円
自覚症状があまりなく、特に女性に多い疾病である骨粗しょう症を早期に発見し、将来的な医療費や介護給付費の抑制・町民の生活の質の向上を目的として検診を実施			
5	歯科健診事業		171 千円
18歳以上（妊婦は年齢制限なし）を対象に、高等学校卒業後も切れ目のない口腔ケアを実施			
6	こころの健康づくり事業	新規	85 千円
幕別町自殺対策行動計画（令和6年3月）に基づき、こころの相談対応やこころの健康づくりのための心がけや不調の際の早期対応について、町民への理解が深まるよう、広報やホームページで周知 ▶精神科医による町民向けの講演会を実施するため事業化（令和8年度）			
7	中等度難聴者補聴器購入費助成事業 R7~		6,000 千円
40歳以上の中等度の難聴者に対し、補聴器購入費の1/2（片耳上限5万円）を助成することで、積極的な社会参加、地域交流の促進、認知症の予防を図る			
8	高齢者等予防接種事業 R6~		34,379 千円
予防接種を希望する住民の接種費用を一部助成することで、感染症の流行拡大や罹患時の重症化を予防			
○高齢者インフルエンザワクチン接種 対象者：65歳以上 自己負担1,300円、町負担2,220円		○带状疱疹ワクチン接種 対象者：65歳から100歳までの5歳ごと ・生ワクチン 自己負担4,400円、町負担4,400円	
○高齢者肺炎球菌ワクチン接種 対象者：65歳（1年間） 自己負担5,600円、町負担6,400円		・組み換えワクチン 自己負担11,000円、町負担11,000円	
○新型コロナウイルスワクチン接種 対象者：65歳以上 自己負担4,600円 町負担11,200円		※生ワクチンは1回、組換えワクチンは2回種費用の一部を助成	

9 食の自立支援サービス事業 H11~ **拡充** 7,349 千円

調理が困難なひとり暮らしの高齢者の方に栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、利用者の安否を確認

▶対応可能事業者の増により、計3事業者に拡充（令和8年度）

10 外出支援サービス事業 H4~ 13,145 千円

高齢者や障がい者の方を対象とした移送車両による外出支援サービスを実施

11 医療・介護多職種連携システム事業 R4~ 184 千円

在宅医療・介護における、医療・介護等の多職種連携のための情報共有システム。多職種が同時に、速やかに情報を共有でき、医師の指示や医療介護サービスの変更など、より迅速で適切な患者対応に繋げる

12 フレイル予防事業 R2~ **拡充** 4,917 千円

高齢者の身体状況に合わせてフレイル予防教室、福寿フィットネス、ひざ痛腰痛改善教室などのフレイル予防事業を実施

▶老福リフレッシュ体操を老福ボイスフィットとして内容を変更し、開設日を増やして実施（令和8年度）



13 認知症カフェ活動運営助成金 H30~ 48 千円

認知症の人やその家族、地域住民、専門職等が交流し、お互いを理解する場である「認知症カフェ」の設置を推進することを目的に、運営主体に対して運営費の一部を助成

14 生活支援体制整備事業 H29~ 6,750 千円

生活支援コーディネーターが中心となり、地域における支え合いの仕組みづくりや、人材育成、地域活動への支援を行う。また、多様な生活支援・介護予防サービスの充実・強化を図る

15 基幹相談支援センター機能強化事業 H26～ 9,460 千円

基幹相談支援センターは、地域の障がい者の相談支援の拠点として身体障がい、知的障がい、精神障がいに関する総合的な相談を行うなかで、困難事例などについては社会福祉士や精神保健福祉士などによる専門的知識を生かした相談対応を行い、また町内の相談支援事業所に対しては専門職による指導・助言、情報収集・提供、人材育成などの支援を行うなど相談支援機能の強化を図っている

16 ひきこもり対策推進事業 R3～ 14,227 千円

社会福祉協議会と連携し、ひきこもり状態にある本人や家族等を支援することにより、本人の自立を促進し、本人及び家族等の福祉の増進を図る

17 成年後見実施機関運営事業 H27～ 3,088 千円

社会福祉協議会に委託して運営する成年後見実施機関に中核機関の機能を付け加え、権利擁護支援を必要とする方に迅速に適切な支援を繋げるよう地域連携ネットワークのコーディネート等を実施

18 コミュニティバス運行事業 H25～ 16,475 千円

コミュニティバス幕別線・札内線に係る運行費を補助



19 予約型乗合タクシー運行事業 H26～ 8,948 千円

予約型乗合タクシー駒畠線・古舞線に係る運行費を補助

20 福祉除雪事業 R6～ 578 千円

高齢や障がい等の理由で自ら除雪を行うことが困難な低所得世帯（除雪困難世帯）に対して、外出時に支障となる玄関から公道までの除雪を行うことで日常生活の利便性を図り、緊急時の通路を確保



安心・安全なまちづくり

町民の生命と財産を守るまちづくり

【予算額：1,194,572千円】

1 災害用備蓄品整備事業 H27～ 4,269千円

第3期幕別町防災備蓄計画（R7～R11）に基づき、備蓄品を整備

○アルファ米2,800食、缶詰パン1,368食、粉ミルク20箱、液体ミルク100本など

2 防災マネージャーの配置 R2～ 6,261千円

防災・危機管理に対する専門知識や実務経験を身に付けた地域防災マネージャーの資格を有する者を防災専門の職員として配置し、出前講座の実施や防災訓練の企画・運営、自主防災組織の設立支援、災害時の関係機関との連絡調整や助言等の業務を実施



3 各種防災システムを活用した住民への情報発信 H25～ 7,896千円

防災行政無線、防災情報メール等による、緊急地震速報、災害・避難情報の該当エリアへの緊急情報の配信

○主な配信手段

- ・防災情報メール（平成25年7月～）
- ・町公式SNS（X, Facebook）（平成31年1月～）
- ・防災行政無線戸別受信機（令和3年4月～）
- ・LINE配信（令和3年4月～）

4 防犯灯LED化事業 H29～ 47,525千円

電気料金及び二酸化炭素排出量の削減を目的に、町内全域の防犯灯をLED化（リース費用）

○平成29年度から3か年で全4,213灯の防犯灯をLED化

5 公共施設LED化事業 R6～ 67,430千円

ゼロカーボンロードマップに基づいて公共施設の省エネ化を推進するため、照明をLED化

- 令和6年度 避難所（学校など）
- 令和7年度 避難所（学校など）
- 令和8年度～ 公園ほか

6 ゼロカーボン推進総合交付金 R6~【再掲 P4】 39,740 千円

7 町道除排雪 298,001 千円

町道の除排雪に係る管理委託料、除雪等委託料、除排雪機械借上料

8 町道整備事業 594,575 千円

(※令和7年度繰越分：85,000千円含む)

○新規6路線、継続8路線

・道路整備工事（新規3、継続6）、舗装補修工事（新規3、継続2）

9 橋梁長寿命化修繕事業 102,720 千円

橋梁定期点検業務（41橋）

橋梁補修工事調査設計業務（白人橋）

橋梁補修工事（新生橋、幌内12号）

10 都市公園安全・安心対策事業 1,006 千円

都市公園等長寿命化対策工事

（スマイルパーク身障者用トイレ自動ドア、男子トイレ大便器修繕工事）

都市公園安全・安心対策工事（寿町公園筒形トイレ撤去工事）

11 インフラ管理DX推進事業 10,791 千円

公開型GIS（令和7年3月運用開始）及び除雪管理システム（令和7年1月運用開始）を導入することで道路管理業務の高度化、効率化を図るとともに、リアルタイムの情報やオープンデータを住民に提供することで住民サービスの向上を図る

12 町道管理DX推進事業 663 千円

住民からの通報を地図上に写真とともに登録、位置情報の共有で近くにいる職員等が対応、対応した状況を地図上に可視化するなどの一連の作業を地図情報共有アプリの導入により行うことで、町道管理のDX化を図る

13 パークゴルフ場トイレ改修事業 13,695 千円

老朽化したパークゴルフ場のトイレを改修することで利用者の利便性向上を図る
（ちろっとの森コース）

1 議会ICT化（タブレット端末導入）事業 R6～ 2,036千円

議会議員に1人1台のタブレット端末を導入し、調査研究活動、会議に関する各種資料の取得や会議録の閲覧、議員と議会事務局間での情報及び各種連絡文書等の送受信、スケジュールの共有に活用

2 自治体DX推進費 R6～ 3,911千円

ICTの活用による業務効率化等により、住民サービス・住民利便性の向上を図る「自治体DX化」に要する経費

○導入年月

- ・生成AI（令和6年4月～）
- ・議事録作成システム（令和6年7月～）
- ・オンラインフォーム作成システム（令和6年10月～）
- ・AI-OCR、RPA（令和7年2月～）

3 行政ポイント付与事業 R5～ 41,016千円

住民の行政活動への参加と町内経済の循環を促進することを目的として、令和5年8月から行政ポイント制度を導入～まくPayポイントとして付与

○主な行政ポイント付与対象内容（1P=1円換算）

- ・転入者 1,000ポイント、
- ・各種健康講座への参加 50ポイント、
- ・認知症サポーター養成講座への参加 100ポイント
など

○ゼロカーボン推進総合補助金～まくpayポイントとして付与

- ・道補助分 34,090千円
- ・町単補助分 5,650千円



4 第7期総合計画策定事業 R8～ 新規 6,036千円

現行の第6期幕別町総合計画が令和9年度末をもって終期を迎えるにあたり、第7期計画策定に向け令和8・9年度の2か年をかけ、住民協働のワークショップ、人口動態実態調査等を実施



元気な教育・文化・スポーツのまちづくり

次代を担う子どもの育成

【予算額：512,464千円】

1 修学支援資金交付事業 S45～(現行:H27～) 2,529千円

町内に保護者または高校生等が在住している場合に課税世帯でかつ世帯収入が生活保護対比1.3倍未満の世帯に対し支援金を給付

○令和8年3月に北海道の制度と給付単価が同額になるよう条例改正予定

2 修学旅行費支援事業補助金 H29～ 8,015千円

町内中学校と義務教育学校後期課程に在籍する生徒の修学旅行に要する費用の2分の1を補助(上限額：3万5千円/人)

○特別支援教育奨励費補助対象者は、その補助金で受給した額を控除した2分の1を補助

3 学校運営協議会運営事業 (小中一貫教育の推進) H29～ 1,439千円

開かれた学校づくり及び小中一貫教育の推進のため、学校運営協議会委員への報酬、費用弁償、また各学園の特色を生かした小中一貫教育の推進のための交付金を支出

○消耗品等の購入に要する費用に対して補助

○学校教育目標や学校経営計画などの基本的な方針等を熟議するための学校運営協議会における委員報酬及び費用弁償

4 子どもカウンセラーの配置 H11～ 8,982千円

不登校、いじめ、児童虐待、子育て、生徒指導など多様化する相談対応のため、子どもカウンセラー(相談員)を3名配置

5 特別支援教育支援員の配置 H20～ 130,844千円

学校において個別の支援を必要とする児童生徒の生活支援・学習支援を実施するため、特別支援教育支援員を配置

○小学校、中学校、義務教育学校に43名を配置

6 臨時英語指導助手の配置 H30～ 4,357千円

生きた外国語に触れる機会の充実を図るため、小学校と義務教育学校前期課程(3年生から6年生)の外国語授業等で、臨時英語指導助手を配置

7 授業支援ソフトの導入 R7~ 2,700 千円

主体的・対話的で深い学びの実現、個別最適化学習の実現を図るため、授業中の教材や宿題等として児童生徒に貸与している学習用端末に授業支援ソフトを導入

8 小学生国内交流事業 4,031 千円

埼玉県上尾市、神奈川県開成町、高知県中土佐町との小学生の派遣・受入れ
○埼玉県上尾市 S50~ ○神奈川県開成町 H27~ ○高知県中土佐町 H27~
※令和8年度は開成町・中土佐町への派遣、上尾市からの受入れを実施

9 中学生・高校生海外研修事業 9,860 千円

オーストラリアの大自然、外国の生活や文化、教育などに触れる機会を提供することで語学や国際社会に貢献できる人材を育成するため、引き続き海外研修事業を実施
○オーストラリア、メルローズハイスクールとの相互交流
※令和8年度は中学2年生15名、幕別清陵高校1年生3名の派遣

10 マチコミアプリ（有料版）の導入 新規 1,207 千円

緊急時における安否確認や迅速な連絡手段体制を構築するため、マチコミアプリ（有料版）を導入し、教育委員会と学校、保護者間の連絡手段のデジタル化を構築

11 魅力ある高校づくり支援事業 S62~ 10,356 千円

魅力ある高校づくりを支援するため、幕別清陵高等学校及び中札内高等養護学校幕別分校に対して補助金を交付

令和8年度に実施する主な事業（幕別清陵高等学校）

○特色ある学習支援事業

・キャリア教育の推進

①キャリア形成（学習支援システム利用料の一部補助）

②キャリアアップ（各種模擬試験や資格検定費用の一部補助）

・先端教育の推進

①地域連携探求学習の推進（地域連携マイプロジェクトへの支援、地域連携コーディネーター活動経費）

②生徒個々の能力と個性を伸ばす個別最適な教育の推進（専門機関等からの講師招聘、体験学習に要する費用の補助）

○いきいき部活動支援事業

・部活動への大会参加費用の補助、用具購入等の支援



12 小・中学校校舎等長寿命化改修事業 新規 39,930 千円

札幌北小学校長寿命化改修事業に係る実施設計業務

13 まくべつ学園増改修事業 新規 288,214 千円
(森林環境譲与税基金活用事業)

令和8年度に開校する義務教育学校「まくべつ学園」の新校舎として、旧幕別中学校の校舎を改修し、不足する教室や児童生徒玄関、特別教室棟と普通教室棟を繋ぐ渡り廊下などを増築

【2年目工事】

- ・工事監理委託料
- ・移転業務委託料
- ・まくべつ学園増改修工事（建築主体・機械設備・電気設備）
- ・初度備品（図書スペース備品の整備に森林環境譲与税基金を活用）

豊かな心を育む文化・スポーツの振興

【予算額：3,773 千円】

1 図書館を核とした地域づくり事業 H30~ 543 千円

図書館を核とし、図書館運営をサポートする人材の育成と健康寿命を延伸するための取組を実施することで、地域が抱えている課題を解決するための地域住民の活動の場を創出

○ARアプリ「マチアルキ」により、地域情報や郷土の史跡などAR
(拡張現実)を通じて図書資料等と紐付けする



2 マイファーストブックサポート事業 H15~ 1,210 千円
【再掲 P11】

3 アスリートと創るオリンピックの町創生事業 H30～

2,020 千円

○スポーツ合宿・大会誘致及び受入体制の強化

- ・慶應義塾体育会野球部の合宿誘致【継続】：600千円

慶應義塾体育会野球部の合宿の受入調整、地域との交流活動を行いながら、交流人口の拡大や地域のPRなどを行う

○応援大使やアスリートを活用した運動・スポーツの機会創出

- ・アスリートふれあい事業【継続】：1,420千円

幕別町応援大使や第一線で活躍するアスリートが町内小中学校への訪問や、スポーツイベントを通じて児童・生徒、地域住民と交流することで町内出身のアスリートやスポーツへの興味・関心を持ってもらう。

保護者や指導者にスポーツの大切さを理解してもらい、子どもがスポーツに親しむ習慣が促進されるよう普及・啓発するとともに、スポーツを続ける環境づくりのサポートを行う。



歴史的文化の保存と伝承

【予算額：92,725 千円】

1 化石発掘調査研究事業 R1～

2,763 千円

令和6年度は54年ぶりにナウマンゾウ化石の発見（頭骨の一部）ができたことから、令和8年度も引き続き未発掘エリアを重点的に調査して、更なる化石の発見を目指すとともに、かぼちゃプロジェクトや発掘調査報告会等を実施



2 アイヌ文化拠点空間整備事業 R4~R8

79,764 千円

アイヌ文化の拠点となる多機能型交流施設（生活館棟、展示館棟）の整備

○令和8年度に実施する事業

- ・外構工事、展示に係る工事、
電話ネットワーク工事
- ・展示資料・備品の搬送設置
- ・完成式の開催



3 アイヌ文化振興事業 R4~

10,198 千円

伝統的なアイヌ文化や生活の場を整え、各種講座によるアイヌの歴史や文化の普及促進、公営塾の実施による学習支援等を行う事業

- アイヌ文化伝承活動支援事業：チセの建設演習、アトゥン織り伝承等
- アイヌ文化普及啓発事業：アイヌ文化体験講座、アイヌ語講座の開催等
- アイヌ文化情報発信事業：企画展の開催
- アイヌ文化学習支援事業：アイヌ語・アイヌ文化体験公営塾（小学生対象）の開催

